

新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金コールセンター
0120-221-276 月～金8:30～20:00
土日祝8:30～17:15

難波宮跡公園

2025年の大阪・関西万博までに難波宮跡公園の整備をすることを求めてきました。特に大阪城公園に隣接する北側ブロックは好立地であるのに利活用されないうままでした。公園の整備に民間活力を導入し、レストランやカフェといった便益施設などの施設と、難波宮跡の建物跡などの遺跡を示す園地の整備を進めることが決まりました。大阪城公園との一体的な利用を深めるように要望し、万博までに整備完了するようにこれからも確認してまいります。



水道経営戦略の見直し

安定的に安心安全な水道水を供給するためには水道局の経営基盤がしっかりしていることが重要であり、再三、水道局に経営状態を確認してきました。長期的な経営基盤を確認したところ、令和13年までは黒字であるが、令和14年以降は赤字になることが判明しました。設備の耐震化や管路更新など多額の設備投資があり、経営戦略の練り直しが必要です。

安定した企業経営が市民サービスの根幹となることから、黒字のうちにしっかりと対応するように要望しました。経営基盤の安定、市民サービスが低下しないように受益者負担や水道料金のあり方について引き続き議論していきます。



下水道事業と外郭団体の役割

建設局と外郭団体であるクリアウォーターOSAKA(株)が下水道施設の運転・維持管理を実施するために20年の長期包括委託契約を締結したことが、市民にどのように貢献できるかを確認しました。長期的な経営戦略をたて、大阪市だけでなく国内外の他都市の仕事も積極的に取り組むことが確認できたので、大阪メトロのように株主である大阪市に株式配当をおこなうように要望しました。早い時期に実現できるように支援していく旨の答弁を得ました。これからも外郭団体へのチェックをしてまいります。



近隣・地区公園の活性化

以前より身近な公園こそ活性化化する必要があると考え、近隣・地区公園の規制緩和を要望してきました。その結果2021年度に市内9つの公園でモデル事業「パークファン」として実現しました。この事業は公園でプレイパークなどの企画を市民の方が直接運営できるものです。都島区では都島中央公園で歌唱・体操がおこなわれました。本年度からは全市的に近隣・地区公園で行われます。健康増進のほか、少子高齢化のなか子育て・教育環境の充実の観点からも、世代を超えた様々な社会問題の解決の場として本事業をご活用ください。



大阪市NEWS

小学5・6年生も塾代助成拡充決定！

塾代助成事業は中学生を対象に学習や文化・スポーツ教室等にかかる費用として月額1万円を上限に大阪市が助成を開始してから10年が経過しました。令和5年4月から小学5・6年生への助成対象拡大する方向が決定。少しでも多くの方にご利用いただけるよう、多子や所得制限についての議論を今後進めてまいります。



大阪市全域路上喫煙禁止

2020年4月1日より「健康増進法の一部を改正する法律」が全面施行され、受動喫煙の防止がマナーからルールへと変わり、原則屋内での喫煙が禁止されました。大阪市では「大阪市路上喫煙の防止に関する条例」を施行し、路上喫煙禁止地区内の路上喫煙に過料を適用してきました。2025年1月には大阪・関西万博の開催に向けて、路上喫煙を禁止するエリアを市内全域に広げる方針が決定しました。



「空飛ぶクルマ」実現へロードマップ公表

「空飛ぶクルマ」は、ドローンなどの技術を活用して人や物を乗せて電動で飛行する乗り物で、交通渋滞の解消や物流の効率化などにつながると期待されています。実用化までの道筋を示す「ロードマップ」では、2023年度には大阪府内で離着陸場の設置を始めるとともに、継続的に実証実験を進め、府民に「空飛ぶクルマ」の特性や運航ルートへの理解を深めてもらう活動を進めます。そして、2025年には大阪・関西万博会場の夢洲上空を中心に「空飛ぶクルマ」の運航を始め、2030年頃には大阪の都心部を含めたエリアで、2035年頃には近隣県も含めたより広域なエリアで、「空飛ぶクルマ」を運航し日常的な乗り物にするとしています。



子どもへの弱視発見へ屈折検査

目の機能は6〜8歳ごろまでにほぼ完成され、異常があると弱視になる事例が確認されています。早期の治療が必要で、子供が自分で意思表示ができる年齢に達するまで発見が難しく、4月から専用機器を使った高精度の「屈折検査」（約30秒で弱視の原因になり得る斜視や遠視、近視などを調べることができる）を3歳児健診に新たに導入します。